

テーブルトップスタンド

SU-THS1

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

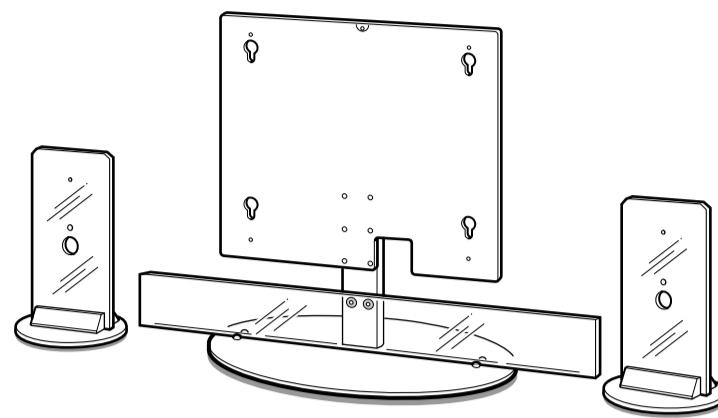
△警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテーブルトップスタンドはソニー製の指定機器専用です。下記指定機器以外には使わないでください。

指定機器：フラットパネルカラーテレビ（KZ-42HS500）

Sony Corporation ©2001 Printed in Japan

**△警告**

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかししまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒や落下などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破壊などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒または落下などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止

△危険

火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒や落下により死亡や大けがの原因となります。



禁止



ディスプレイユニットの電源映像ケーブルを挟まないようとする

- ディスプレイユニットを取り付けるとき、電源映像ケーブルを挟みこまないようにしてください。電源映像ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。
- テレビスタンドを動かすとき、電源映像ケーブルを踏まないようしてください。電源映像ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。

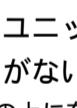
△警告

火災

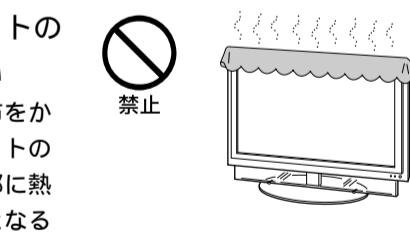


感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒や落下により死亡や大けがの原因となります。



禁止



ディスプレイユニットの通風孔をふさがない

テレビスタンドの上に布をかけてディスプレイユニットの通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

テレビスタンドを移動したときに、ディスプレイユニットが落下し、けがの原因となることがあります。

テレビスタンドを設置する

傾斜のあるところに設置すると、

テレビスタンドが転倒し、けがや破損の原因となることがあります。

安定している台の上に載せる

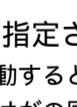
不安定な台の上に載せるとバランスを崩して転倒し、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

転倒防止の処置をする

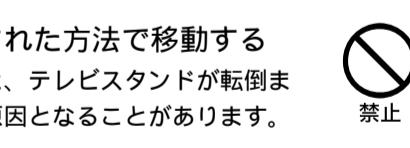
転倒防止の処置をしないと、地震などにより、ディスプレイユニットが転倒し、けがの原因となることがあります。テレビスタンドと壁などの間に転倒防止処置を行ってください。

テレビスタンドに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

テレビスタンドが転倒し、けがの原因となることがあります。



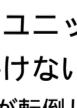
禁止



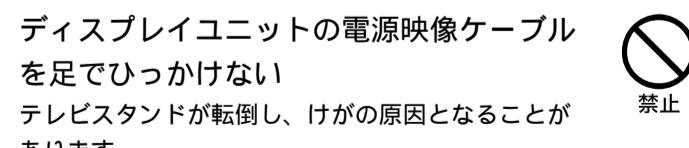
スピーカーコードをテーブルトップスタン

ドで挟まないようにする

スピーカーコードに傷がついて、火災や感電の原因となることがあります。



禁止



ディスプレイユニットの電源映像ケーブル

を足でひっかけない

テレビスタンドが転倒し、けがの原因となることがあります。



禁止



<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は再生紙を使用しています。

△注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

スピーカースタンドは平らな面に設置する

傾斜のあるところに設置すると、スピーカースタンドが転倒または落下し、けがの原因となることがあります

組み立ては、組み立て手順に従ってしっかりと組み立てる

ねじがゆるんでいたり、抜けていたりすると、テーブルトップスタンドが傾いて転倒し、落下によるけがや破損の原因となることがあります。



スピーカーコードを足でひっかけない

スピーカースタンドが転倒または落下して、けがの原因となることがあります

取り付け手順に従って、ディスプレイユニットをしっかりと取り付ける

ディスプレイユニットがしっかりと取り付けられないと、ディスプレイユニットが落下し、けがの原因となることがあります。

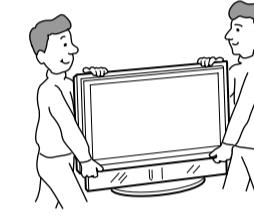
組み立てるときには、手や指を傷つけないように注意する

テーブルトップスタンドを組み立てるときや、ディスプレイユニットを取り付けるときには、手や指を傷つけないようにご注意ください。

スタンドを動かすときのご注意

テレビスタンドを動かすときには

- ディスプレイユニットの両端をささえるようにして持ち上げて、設置してください。



- アクリル板などテレビスタンド部分を持って移動しないでください。

スピーカースタンドを動かすときには

- スピーカースタンドを持って動かしてください。
- スピーカー本体を持って動かさないでください。
- スピーカースタンドを動かすときは、スピーカーコードにご注意ください。

使用上のご注意

- 組み立てるときは、床に傷がつくのを防ぐため、梱包材などを敷いてください。

設置場所は、堅くて平坦な面にしてください。
設置場所によっては、テーブルトップスタンドの変形や傾きが生じることがありますので、下記のことをお守りください。

- 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
- 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
- 高温多湿の場所や屋外に置かない

- お手入れをする際には、柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品は、テーブルトップスタンドの仕上げを傷めることができますので、使わないでください。

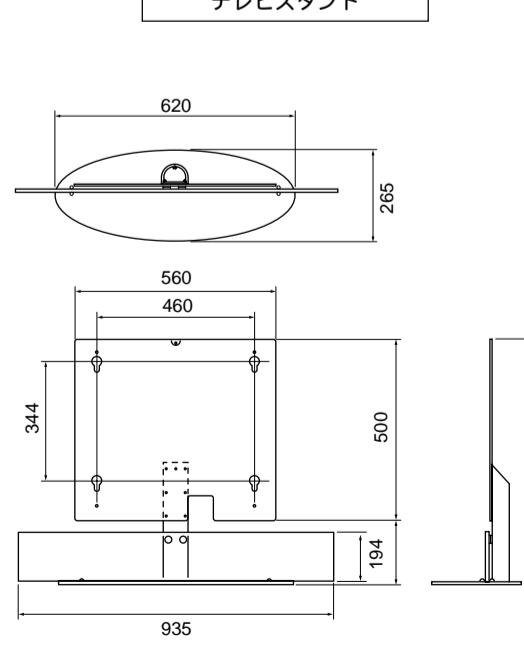
主な仕様

単位: mm

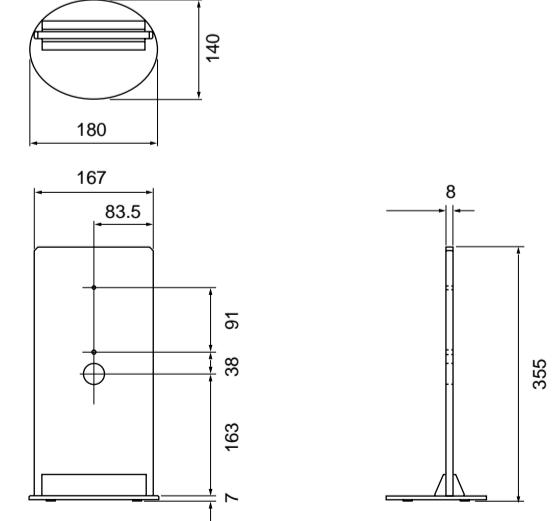
質量: SU-THS1テレビスタンド: 12.7kg

SU-THS1スピーカースタンド: 1.6kg

テレビスタンド



スピーカースタンド



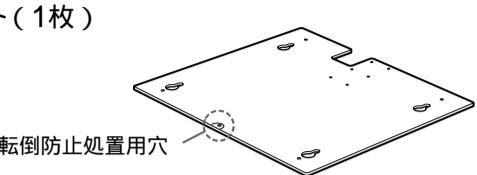
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

テレビスタンドを組み立てる

手順1：組み立てに必要な部品を確認する

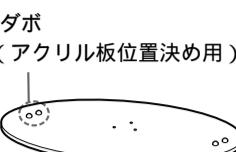
- 組み立てる前に④ドライバーをご用意ください。
- 金属製のフレームを取り付けるときは、けがをしないよう充分ご注意ください。

メインプラケット(1枚)

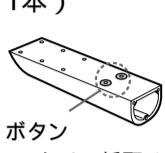


底板(1枚)

クッション付きの面が下面です。



支柱(1本)



アクリル板(1枚)



ボタン
(アクリル板取り付け用)

ボタン
(支柱取り付け用)

名 称	数 量	名 称	数 量
はずれ防止ネジ ④ 5x25 mm	4	平ネジ ④ 5x16 mm	6
バネ付きネジ(大) ④ 5x16 mm	3		

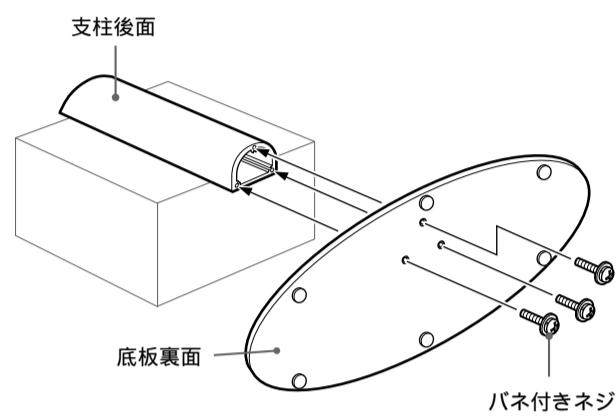
手順2：底板に支柱を取り付ける

ダボに合わせて底板に支柱をはめ、バネ付きネジ(3本)で固定する。

支柱裏側は半円形で安定性が悪いので、作業は2人以上で支えながら行ってください。

強度を確保するため、ネジはゆるみのないよう強い力で締め付けてください。

ちょっと一言
箱などを利用するとき、本機や床面を傷つけず、安定した状態で作業できます。



手順3：メインプラケットを取り付ける

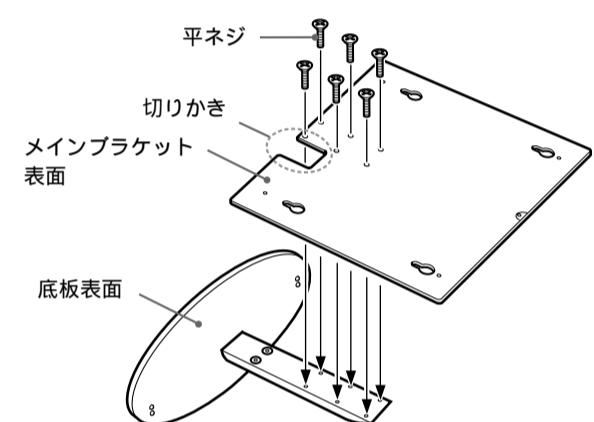
メインプラケットと支柱のネジ穴を合わせ、平ネジ(6本)で固定する。

作業は2人以上で支えながら行ってください。

6本の平ネジで一度仮留めをしてから、強度を確保するため、強い力で締め直してください。

ご注意

- 支柱と底板をしっかりと支えて、安定させた状態で取り付けてください。
- メインプラケットには表面と裏面があります。右図のように、切りかきが中心より右側にくる面を表にして取り付けてください。



手順4：ディスプレイユニットを取り付ける

△危険

全ての作業が終わるまで、電源映像ケーブルをデジタルAVユニットに接続しないでください。

1 ディスプレイユニットをテレビスタンドに掛ける。

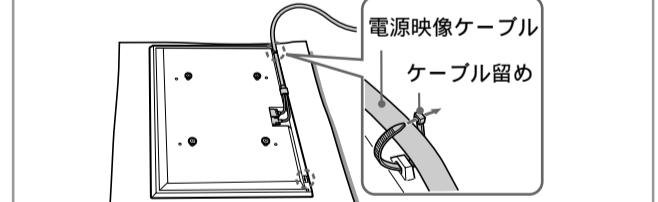
- ディスプレイユニットに付属の電源映像ケーブルをディスプレイユニットにつなぐ。

ちょっと一言
電源映像ケーブルの接続については、フラットパネルカラーテレビ(KZ-42HS500)の取扱説明書をご覧下さい。

電源映像ケーブルをディスプレイユニットの後面に固定するには

ディスプレイユニットに付属のケーブル留めを、ディスプレイユニットの背面の通し穴に通して、電源映像ケーブルを結び付けます。通し穴は左右2か所ありますので、どちらか都合の良いほうを使ってください。

ディスプレイユニットの通風孔をふさがないように、電源映像ケーブルは、ややゆるませて固定してください。

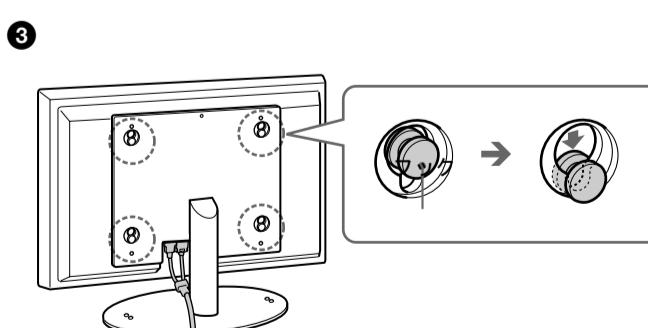
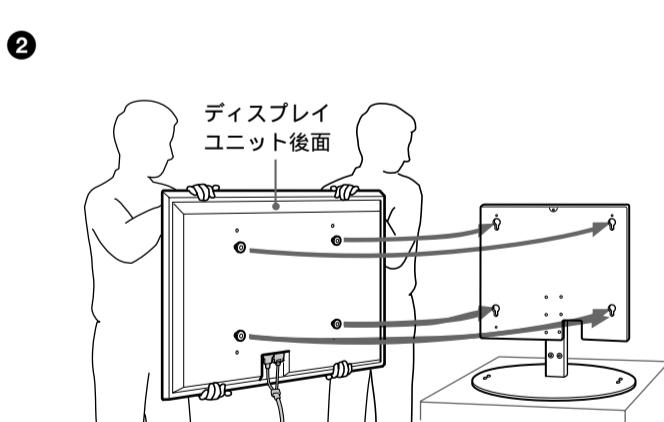
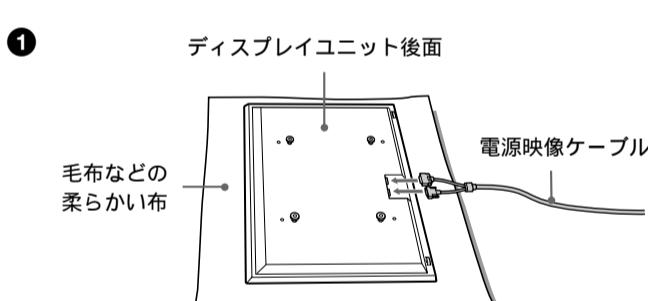


② ディスプレイユニットの上下両端を2人以上で持つて、ディスプレイユニット後面のフックをメインプラケットの穴に差し込み、4か所の穴に全てのフックが掛けたことを確認する。

③ メインプラケットの穴に差し込んだフックを、まっすぐ下にあおして固定する。

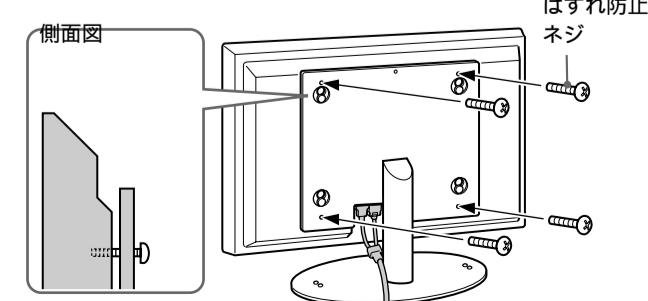
ご注意

- ディスプレイユニットは、穴の底までしっかりと差し込んでください。取り付け後は、ディスプレイユニットが平行にかかっているかご確認ください。
- ディスプレイユニットを取り付けるときは、テレビスタンドが動かないように注意してください。



2 はずれ防止ネジ(4本)を使ってディスプレイユニットを固定する。

ディスプレイユニットとメインプラケットの間が少しあいた状態になります。



手順5：アクリル板を取り付ける

支柱にアクリル板を取り付ける。

- 電源映像ケーブルをメインプラケットの切りかぎに通す。

ちょっと一言
ケーブル留めで電源映像ケーブルを留めている場合、ケーブルが左右から出せるので、切りかぎを通す必要はありません。

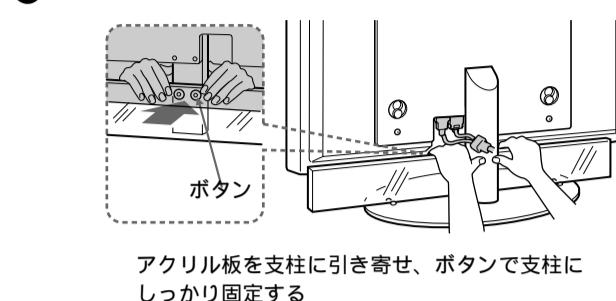
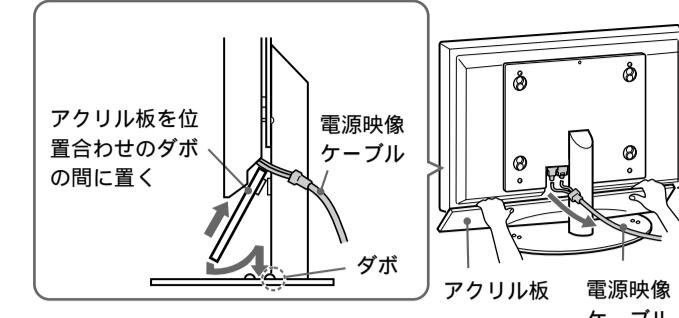
- アクリル板をディスプレイユニットと支柱の間に差し込み、底板のダボの間にたてる。

- 支柱裏側から親指で支柱を支え、残りの指でアクリル板を支柱に引き寄せ、アクリル板裏面のボタンを支柱前面のボタンに取り付ける。

ご注意

- 初めてアクリル板を取り付けるときは、ボタンが固いことがあるので、「カチン」と音がするまではめてください。
- ディスプレイユニットとアクリル板の間に、ケーブルを挟まないようにしてください。

①、②



手順6：転倒防止の処置をする

メインプラケット上部の転倒防止処置穴にワイヤーなどを通して壁に取り付け、スタンドを固定する。

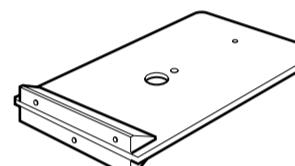
スピーカースタンドを組み立てる

手順1：組み立てに必要な部品を確認する

- 組み立てる前に④ドライバーをご用意ください。

- 金属製のフレームを取り付けるときは、けがをしないよう充分ご注意ください。

メインプラケット(1枚×2)



底板(1枚×2)
クッション付きの面が裏面です。



名 称	数 量	名 称	数 量
スペーサー用ネジ ④ 3x16 mm	2	バネ付きネジ(小) ④ 4x12 mm	6
スピーカー用ネジ ④ 5x16 mm	2	スペーサー	2
チョウナット	2	スピーカーパッド (スピーカー本体付属)	2
ナイロンワッシャー (スピーカー本体付属)	2		

手順2：底板にブラケットを取り付ける

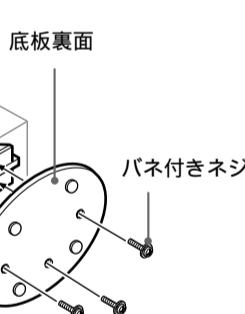
底板とブラケットのネジ穴を合わせ、バネ付きネジ(3本)で固定する。

強度を確保するため、ネジは強い力で締め付けてください。ブラケットは、安定した机などの上に置き、固定した状態で底板を取り付けます。

ちょっと一言
箱などを利用するとき、本機や床面を傷つけず、安定した状態で作業できます。

ブラケット前面

底板裏面

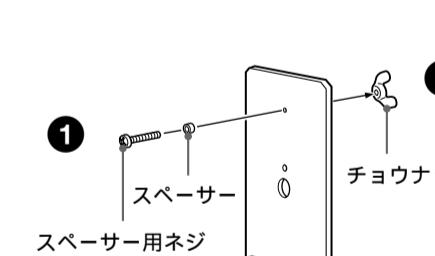


手順3：スピーカーを取り付ける

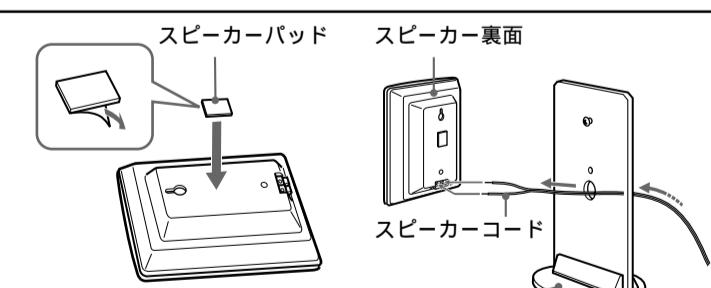
- スペーサーをスペーサー用ネジに取り付けてから、メインプラケット前面の一番上のネジ穴に通す。

- チョウナットで、スペーサー用ネジを締める。

チョウナットを締めるときは、回転しないよう④ドライバーでスペーサー用ネジを押させてください。



- スピーカー本体付属のスピーカーパッドをスピーカー本体裏面に貼り、スピーカーコードをメインプラケットの一番下の穴に通し、スピーカーコードをスピーカー本体に接続する。



- 1で取り付けたスペーサー用ネジに、スピーカーを掛ける。

スピーカーコードがたるまないように引っぱりながら、スピーカーを掛けてください。

ご注意

スピーカーコードを引っ張り過ぎて、コードをスピーカーから抜いてしまわないようご注意ください。

- スピーカー本体附属のナイロンワッシャーとスピーカー用ネジをブラケット背面から入れ、スピーカーをスピーカー用ネジで固定する。

